

総合労働協約改訂等交渉 妥結!

本部は、JR四国及びジェイアール四国バスとの間で総合労働協約改訂等の団体交渉を行い、いずれも9月20日に妥結した。日々の業務に奮闘し、とりわけ安全・安定・安心輸送に強い責任感と使命感を持ち、業務に取り組み組合員の想いを強く訴え続けた結果、JR四国においては「年間総労働時間の短縮」「各種手当改善」「働き方の拡充に向けた施策」等に関して11項目、ジェイアール四国バスについては「子にかかる家族手当の改善」をはじめとした6項目の制度改善をそれぞれ果たした。

2023実現に向け大きく前進

「中期経営計画2025」の達成に向けて正念場である現下において、次なる飛躍につなげるためには人材の確保が必須であり、今働く私たちがモチベーションを高く保てるよう「誇りを持ち、生き生きと働き続ける」ことのできる労働条件・環境整備が必須となる点を力強く主張し、交渉を継続してきた。

その結果、会社側から「年間総労働時間の短縮」「各種手当改善」「働き

JR四国

方の拡充に向けた施策」に係る11項目の回答に加え、「高年齢層における人事賃金制度あり方」「扶養手当のあり方」及び「フレックスタイム制度の導入に向けた検討」について言及があった。

ジェイアール四国バス

6項目の前進に加えさらなる賃金改善に向けた考えに言及

ジェイアール四国バスとの総合労働協約改訂交渉は、8月26日の1回目、9月11日の2回目、9月20日の3回目の交渉を行った。

交渉の結果、今回申し入れた要求項目のうち、会社側から「子にかかる家族手当の改善」「家族の看護にかかる保存休暇の新設」「再雇用契約社員の家賃手当の新設」「準組合員の基本賃金改善」について回答を、また今回の交渉で強く訴えた猛暑への対応として「制帽省略の通年実施」「乗務中の水分補給及び盛夏衣の素材変更」についても検討を行う旨、回答を引き出すことができた。

＜2024年度上期
経験者採用14名
加入を達成!!

入社おめでとうございます。JR四国労組は、各系統において経験者採用を行っており、本年度上期は新たに14名の仲間がJR四国労組に加わりました。関係支部・分会の対応に御礼申し上げます。今後のフォローについて協力を要請する。

(詳細は、JR四国労組ニュースNo.8を参照) 交渉終了後、業務対策委員会を開催し、会社を取り巻く状況は見通しにくいものの、年間休日増や乗務員の所定労働時間の短縮により昨年に続く

年間所定労働時間の削減、各種手当の拡充、通勤・二重生活や転勤に伴う費用等の圧縮に資する制度獲得など、継続的に組合員の安心感に資する改善が図られたと判断し、9月20日15時に妥結した。

た。加えて、離職防止の観点からかねてより強く主張している55歳以降の基本給のあり方について、今春の一部改善を踏まえた上で、「今後も経営状況等を勘案し検討していく」と考えを示した。

組合は、「今回の回答において、一定の前進が図られた一方で、基本給や休日数といった離職防止かつ、採用競争力の強化に資する項目の改善が見られなかった。社会における変化のスピードが

JR四国

年間所定労働時間短縮

- ① 年間休日1日増(109→110日)
- ② 乗務員の1日平均労働時間短縮を実現
・「7時間35分」→「7時間15分」

各種手当支給改善

- ③ 単身赴任手当引き上げ(30,000円→33,000円)
- ④ 職務手当の引き上げ
・本社及び附属機関に勤務する副長等(24,000円→30,000円)
- ⑤ 職務手当と技能手当の併給不可を撤廃
- ⑥ 準組合員の基本賃金引き上げ

働き方拡充

- ⑦ 本社等における在宅勤務の回数(週2回)拡大
- ⑧ 発令等に伴う転居費用を会社負担に
・転勤等が発生し、賃貸物件解約に必要となる違約金や礼金等を会社が負担(退去・入居それぞれ上限20万円)
- ⑨ 通勤時における特急列車の特認要件緩和
・通勤距離が「65km以上が対象」→「40km以上」に
- ⑩ 社員間のコミュニケーション活性化に向けた補助制度(2,000円)導入
・箇所長が主催するレクに参加した場合年度に1回支給
- ⑪ 事業開発システムのキャリア転換制度拡充

口頭により確認

- ・(人事賃金制度)エキスパート組合員も含む55歳以降の賃金改善に向け検討を深度化。
- ・(扶養手当)共働き世帯の増加等社会情勢の変化にあわせた検討を進める。
- ・(フレックスタイム制度)新勤怠管理システム人事給与システム改修が必須。改修に係る投資効果を見極め、検討を深度化。

ジェイアール四国バス

- ① 子にかかると家族手当の改善 (2025年4月実施)
・扶養親族のうち、第1子:11,000円 第2子以降:3,000円
※第1子が扶養から外れた場合、第2子が第1子の資格を得る
- ② 家族の看護にかかる保存休暇を新設 (2025年4月実施)
・配偶者並びに一親等の血族及び姻族の負傷または疫病の看護が対象
- ③ 準組合員の基本賃金の改善 (2024年10月実施)
・再雇用契約社員
デスク・営業係:月額 166,500円 (4,000円改善)
構内運転係・デスク・営業係・清掃係
:時給額 980円 (50円改善)
- ・契約社員(パートナー・サポーター)
営業係 :月額 166,500円 (7,700円改善)
:日給 7,600円 (380円改善)
:時給 980円 (50~70円改善)
- ④ 再雇用契約社員の家賃手当の新設 (2025年4月実施)
・扶養親族のうち、配偶者及び子について社員に準じて取り扱う
- ⑤ 制帽省略について通年実施の方向での検討
- ⑥ 熱中症対策の強化に向け、乗務中の水分補給及び盛夏衣の素材変更等の検討の実施

口頭により確認

- ・ベアに対する意向が示されるとともに、55歳以降の基本給については経営状況等を勘案し検討していくとの回答!

各支部青年女性会議定期委員会開催!

各支部青年女性会議の定期委員会は、9月6日の本社支部青年女性会議を皮切りに順次開催された。各支部とも、本部署青年女性会議第32回定期委員会承認された活動方針に基づき、スローガン案、経過報告及び活動方針案を提出した。出席した各委員からは安全・安定・安心輸送の確立、職場における諸問題をはじめとする労働条件改善、組織

の活性化に向けた男女平等参画の推進や、支部との連携、支部青年の活性化に資する取り組み、年末手当・賞与への期待等について発言があり、常任委員会より答弁を受けた後、満場一致で全ての議事が承認された。なお、各支部の開催日、及び役員改選により選出された新三役は記載のとおり。(愛媛支部・香川支部は順次開催)

徳島支部青女



10月1日(火) 徳島立駐会議室

副議長 角南厚志郎
議長 岩脇 裕輝
事務局長 石尾 瑞基

高知支部青女



9月23日(土) 統合事務所会議室

副議長 細川谷 長平
議長 中山 和流
事務局長 平下 樹大

自動車支部青女



10月3日(木) 本部1階会議室

議長 藤澤 直也

本社支部青女



9月6日(金) 本部1階会議室

副議長 佐野 拓馬
議長 森野 佑城
事務局長 横井 恭佑

JR四国労組推薦候補者8名を決定!!

JR四国労組は、第50回衆議院議員選挙の候補者8名をJR四国労組推薦候補者として決定しました。各県協は推薦候補者を通じた政策課題の実現に向けた取り組みを行っており、投票日まで、組織の総力を結集し、支持者の拡大に向け、全組合員・家族の一層のご支援・ご協力をお願いします。

【香川県協推薦候補者】

◎【重点候補】小川 淳也
(立憲民主党・香川1区)

◎【重点候補】玉木 雄一郎
(国民民主党・香川2区)



【愛媛県協推薦候補者】

◎【重点候補】白石 洋一
(立憲民主党・愛媛2区)

◎【重点候補】武内 則男
(立憲民主党・高知1区)



◎ 石井 智恵
(国民民主党・愛媛1区)
◎ 越智 清純
(立憲民主党・愛媛3区)

◎ 高橋 永
(立憲民主党・徳島1区)
◎ 飯泉 嘉門
(無所属・徳島2区)

※顔写真は各推薦候補者HP等より引用

香川支部 第38回定期大会開催!



台風10号の接近により、開催が延期された第38回香川支部定期大会は10月2日にホテルアネシス瀬戸大橋(香川)にて開催された。

多度津運動区公会 ボウリング大会開催!

私たちが多度津運動区分會では、8月26日から28日までの3日間の日程で、善通寺市のマックスボウリングにおいて、ボウリング大会を開催しました。ボウリングは、誰でも参加出来る競技とあつて多くの組合員が参加し、日頃の成果を発揮する者、一発勝負に賭ける者など、和気藹々とした雰囲気の中で、好プレー、好プレーに笑い、歓声が入り交じり、大変盛り上がった大会となりました。その中で、2ゲーム347ピンの素晴らしいスコアで他の追随を許さず見事優勝を飾った今田颯一さんは、みんなからの祝福を受けていました。今後、様々なサークル活動を通じ、組合員の親睦、組織の充実・強化に繋げたいと思います。多度津運動区副分會長 西本 貴哉



ボウリング大会の様子

第3回 本部執行委員会開催

9月14日(土) 10時40分より、本部1階会議室を拠点とし、WEB形式にて第3回本部執行委員会を開催した。

【経過報告】

- ・組織の強化・拡大(団交)
- ・総合労働協約改訂等について(JR四国・ジェイアール四国バス)
- ・支部大会(支部大会)
- ・本社、愛媛、高知、徳島、自動車

- ・部会二役会議(教育)
- ・教育・広報委員会(レク)
- ・サークル協議会運営委員会(共闘)
- ・中央交運労協・地方代表者会議
- ・JR連合
- ・組織財政検討委員会
- ・JR連合ビジョン推進委員会
- ・教育・広報担当者会議
- ・JRグループ労組連絡会定期総会
- ・産業政策委員会
- ・男女平等参画推進委員会

- 【議事】
- ① 次期参議院議員選挙(徳島県・高知県選挙区)における推薦候補者について
 - ② 2024年度準組合員賃金引き上げの了承承認について
 - ③ JR連合第31回賃金実態調査の実施について
 - ④ ユニオンスクール「フレスコ」の開催について
 - ⑤ 第34回ゴルフ大会の開催について
 - ⑥ JR連合第13回安全シンポジウムの開催について
 - ⑦ 四国交運労協第36回定期総会の開催について
 - ⑧ 当面するスケジュールについて
 - ⑨ その他

松山保線公会 夏季レクリエーション開催!

私たち、愛媛保線分會は、8月3日から2日間で夏季レクリエーションを、八幡浜市保内町「夢泳海水浴場」にて、開催しました。両日ともに天候に恵まれ、絶好の海水浴・



松山保線公会のレクリエーションの様子

プを開催しました。新しく転勤してきた若手組合員からベテラン組合員まで26名が参加し、ハイキューなどをして交流を深めました。この日は天気も良く川遊びする人もおり全員が楽しめました。今後またレクリエーションを開催し分會の活性化していきたいと思えます。宇和島運動区分會長 嶋家 正芳

JBQ・キャンプ日和となりました。県内各地から総勢20名の組合員とその家族の参加者がありました。今年度は、オリンピックイヤーでもあり、オリンピック競泳選手に負けじと、子供たちも白熱した泳ぎをみせてくれました。そのたびに大人たちは、歓声を上げるなど、暑い夏の



JBQ・キャンプの様子

JR連合第13回安全シンポジウム開催

JR連合は、10月4日(金)に「京都丸丸コンベンションセンター(京都市)」で「第13回安全シンポジウム」を開催し、全国から総勢270名が参加した。

第一部では、「JR連合からの課題提起」として各単組並びに、JR連合からは石川局長(JR四国労組より派遣)がこの間の安全に関する取り組み、現状の課題認識と直近の事象に関して共有がなされた。

第二部では、安部誠治名誉教授(関西大学)より「事故を減少させる、より安全な鉄道を創る」のテーマに基づき、また松田文子特別研究員(大原記念労働科学研究所)「人の性質と安全」をテーマにそれぞれ基調講演を受けた。

第三部では安部教授をコーディネーターとして、「なぜ事故は繰り返されるのか」「環境変化にどのように対応するか」「労使で取り組むべき安全への道筋とは」についてパネルディスカッションを実施。福知山線列車事故の発生から来年で20年経過することをふまえて、改めて安全最優先の取組みの重要性を認識する機会となった。

JR四国労組は、引き続き責任視座として安全・安心・安定輸送の確立を第一義に、JR連合とともに安全追求に取り組む。



安全確保に向け、様々な視点から議論